仙台大と福祉大が先勝

仙台六大学野球

第2節第1日の18日、仙台市の東北福祉大球場で福祉大―宮城教育大、仙台大―東北大の各1回戦があり、福祉大と仙台大が先勝した。

福祉大は1―0の三回に5者連続二塁打など打者12人の猛攻で一挙7得点。その後も攻撃の手を緩めず、13―0で宮教大に5回コールド勝ち。仙台大は先発熊原健人が2安打完封。打線も白川拓海が3安打2打点の活躍を見せ、4―0で東北大を下した。

第2節第2日は19日、同球場で東北大―仙台大、宮教大―福祉大の各2回戦が行われる。

熊原が2安打完封

仙台大―東北大1回戦（仙台大1勝）

仙台大	1	1	0	0	0	0	2	0	4
東北大	0	0	0	0	0	0	0	0	0

勝）熊原1試合1勝
敗）橋口1試合1敗

【評】仙台大が快勝した。先発熊原は11奪三振、2安打完封。打線は一回に押し出し死球で先制し、二回は白川の中前適時打で2―0。八回には長打2本に犠飛を絡めて2点を加えた。

東北大は先発橋口が粘りの投球を見せたものの、打線の援護がなかった。

○…**11Kも納得できず**　仙台大の熊原が11奪三振で完封勝利。それでも、「制球がばらばら。レベルの低い投球になった」と納得できない様子だった。

プロ8球団のスカウトが見守るチーム開幕戦は「硬さがあった」。強風も影響し、三回までに3四球。しかし、「体の軸を意識し、真っすぐ立つようにした」と冷静にフォームを微調整。五、六回には伸びのある直球と鋭い変化球で4者連続三振を奪うなど本来の輝きを見せた。

「よく修正したが、もっとリズム良く投げてほしい」と森本監督。熊原も「次はチームに勢いを与える投球をする」と、さらなるレベルアップを誓った。

仙台大―東北大　完封勝利した仙台大の熊原

3回に一挙7得点

福祉大―宮教大1回戦（福祉大1勝）

福祉大	0	1	7	1	4				13
宮教大	0	0	0	0	0				0

（5回コールドゲーム）
勝）佐藤優2試合2勝
敗）佐藤優2試合1敗

【評】福祉大は1―0の三回、5者連続二塁打などで7点を奪い、序盤で試合を決定づけた。先発佐藤優は5回無失点。四回まで走者を一人も許さず、10三振を奪う快投を見せた。宮教大は投手陣が打ち込まれ、守備も8失策。安打は五回の1本だけだった。

福祉大・佐藤優投手（5回1安打無失点、10奪三振の好投）「調子はいつも通りで悪くなかった。変化球の精度が良く、空振りを取ることができた」

仙台大―東北大1回戦

仙台大	打	安	点
1(右)	4	1	0
4(中)	3	1	0
3(三)	3	0	0
7(一)	3	0	0
9(指)	3	0	0
2(左)	3	1	0
5(打左)	3	1	1
8(走中)	0	0	0
H(捕)	0	0	0
C(二)	2	0	0
P(遊)	1	0	0
振	3	0	0
球	2	0	0
犠	1	0	0
併	0	0	0
残	4	0	0

東北大	打	安	点
6(左)	3	0	0
3(三)	4	1	0
2(一)	3	1	0
H(指)	3	0	0
9(捕)	3	0	0
8(右)	3	0	0
打中	3	0	0
7(遊)	3	0	0
1(投)	2	2	0
4(右)	2	1	0
打	1	0	0
振	7	2	0
球	1	0	0
犠	3	0	0
併	0	0	0
残	1	0	0

三）白川、二）尾崎、失）沢木、鳥木沢木
盗）柏口
時）2時間12分

投	回	打	安	責
熊原	9	30	2	0
橋口	9	36	8	4

福祉大―宮教大1回戦

福祉大	打	安	点
6(右)	2	2	1
4(二)	4	2	1
3(指)	4	2	1
9(左)	3	1	1
7(中)	3	1	0
5(打三)	3	1	1
2(捕)	3	0	1
H(遊)	3	0	0
1(投)	2	0	0
8(遊)	2	0	0
打	2	0	0
振	3	0	0
球	6	0	0
犠	0	0	0
併	1	0	0
残	8	1	0

宮教大	打	安	点
4(遊)	2	0	0
6(二)	2	0	0
3(左)	1	0	0
H(指)	1	0	0
9(三)	2	1	0
8(一)	1	1	0
7(一)	1	0	0
5(中)	1	0	0
2(右)	1	0	0
C(捕)	1	0	0
1(投)	1	0	0
打	1	0	0
振	10	0	0
球	0	1	1
犠	1	0	0
併	0	0	0
残	6	1	0

二）鈴木光、泉田裕、寺田盗、岸本2、鈴木光、坂本2、大寺西田、涼田岸本、米長坂失飯坂、早寺盗飯坂、宮田小野2、阿部1
時）1時間57分

投	回	打	安	責
佐藤優	5	16	1	0
佐藤優	2⅔	17	7	5
高橋	1⅓	4	1	1
遠藤	2	15	4	3